

2022年2月10日  
東京海上日動システムズ株式会社

## DX・データ活用を支える基幹システムへの刷新 ～SAPを活用した契約管理システム刷新とクラウド移行～

東京海上日動システムズ株式会社(取締役社長:関 邦夫、以下「当社」)は、東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長:広瀬 伸一、以下「東京海上日動」)における契約管理システムへの”SAP for Insurance”導入プロジェクトを実施いたします。また、Snowflake、Ab Initio 等のクラウドでの最新データ処理技術を活用し、契約管理システムをはじめとする基幹システムを DX・データ活用を支えるシステムへと刷新いたします。

### 1. 背景

東京海上日動はこれまでも業務革新プロジェクトによる商品・事務・システムの一体的な抜本改革(2008年～)、よりわかりやすいご説明をお客様にお届けするためのタブレット端末の導入(2012年～)等、デジタル技術の活用によるお客様サービスの高度化や社内事務の削減を実現してきました。

足元ではお客様のニーズや行動様式が大きく変化しており、社会課題の解決を通じた新たなマーケットの創造やデータ・デジタル技術の活用による新しい価値創造等を進めております。

この度、これらの取組みの実現を強かに推進すべく、契約管理システムをパッケージを活用して刷新し、またクラウドサービスに移行することといたしました。

当社はグループのIT・デジタル戦略の中核を担う「バリューパートナー」として、これらの取組を推進してまいります。

### 2. 取組みの概要

#### (1) ”SAP for Insurance”を用いた契約管理システムの刷新

様々な環境変化に迅速に対応するための「システムの柔軟性」を確保すべく、新たな契約管理システムの中核として、”SAP for Insurance”(※1)を国内保険会社として初めて導入します。パッケージを最大限に活用するアプローチ”Fit to Standard”(※2)の採用、”SAP HANA® Enterprise Cloud”(※3)の利用、グローバルで蓄積されたSAPのベストプラクティスの活用により、短期間・低コストでの導入が可能となりました。

新たな契約管理システムでは、データを徹底的に活用することで、変化するお客様のニーズに的確に対応し、お客様ひとりひとりやマーケットの特性に合わせた商品・サービスを提供いたします。お客様や社会にさらなる安心・安全をお届けしていくとともに、多様なパートナーとの連携により競争力を強化してまいります。

2023年度下期以降、まずは東京海上日動の中小企業向け商品である「超ビジネス保険」から順

次レベルアップを行う予定です。

- (※1) 開発・提供スピードの向上に加え、データ分析結果をリアルタイムで反映した商品・サービスの提供、パッケージに標準実装された API の活用によるプラットフォーム等のシステムとの素早い連携などが可能となります。
- (※2) 業務に合わせパッケージをカスタマイズするのではなく、パッケージを教科書として必要最小限のカスタマイズを加えていく開発手法。ベストプラクティスによる短期間・低コスト導入を可能にし、システムの開発・導入スピードの向上により変化に素早く対応できます。
- (※3) SAP の製品に最適なシステムリソース一式を運用サービス込みで提供する PaaS (Platform as a Service) 型マネージドクラウドサービスです。

## **(2) データ活用を加速するクラウドサービス・最新技術の徹底活用**

保険契約の計上業務、決算業務、各種データ提供等の仕組みをシンプル化することに加え、Ab Initio(※4)、Snowflake(※5)等が提供する最新技術をクラウドサービス上で用いることで、システム規模の拡大に伴って増加し続けているメンテナンス等に費やす時間を低減し、創出した時間でお客様への新たな価値を提供する取組みを加速させていきます。

さらに協創型次世代データ分析基盤(※6)と連携することで、社内外の様々なデータを利用した高度な分析を行い、得られた知見を商品・サービス・戦略立案等あらゆる場面で迅速に活用していくことが可能となります。

- (※4) データの収集・変換・集約に加え複雑な処理を伴うデータ処理・分析を高速に実行できる Ab Initio の提供する高速データ処理基盤のこと。旧式のテクノロジーからの自動変換機能も持ち、メンテナンスが困難になりつつあるレガシー資源を可視化・シンプル化することも可能です。
- (※5) Snowflake は、データへの安全かつ管理されたアクセス、理論上無制限の性能と拡張性、複数組織間におけるライブデータ共有を特徴とする“Snowflake データクラウド”を提供しており、基幹系システムとも連携した柔軟かつ迅速なデータ利活用を推進できます。
- (※6) 21年6月17日ニュースリリース: 東京海上グループのデータ活用を支えるインフラの強化 ～セキュアな「協創型次世代データ分析基盤」への発展～  
<https://www.tmn-systems.jp/file/news/20210617.pdf>

## **<各社のコメント>**

### **■ SAP SE Executive Board Member, Customer Success / Scott Russell**

SAP ならびに SAP の金融サービス業界向けジョイントベンチャーである SAP Pioneer(エスエーピー・ファイオニア)は、業務アプリケーション、プラットフォーム、インフラストラクチャを含む全てをワンストップで提供しており、世界のお客様が利用されているベストプラクティスを最大限活用することにより、東京海上グループがより競争領域に注力していただくことが可能になります。今後とも SAP は、SAP Pioneer による支援のもと、東京海上グループと協業しながら、新たなビ

ビジネス領域の協創を推進してまいります。

■ **Ab Initio** EMEA and APAC Director / Alan Parker

Ab Initio は東京海上グループのデジタルトランスフォーメーション(DX)推進に参画することができとても喜ばしく感じております。Ab Initio は多種多様なデータおよびメタデータ管理のフレームワークを提供しており、データ処理の完全な見える化の実現により、極めて生産性の高い、データ駆動型システム開発の実現をサポートしております。また、データやソフトウェアのサポートを超え、Ab Initio は東京海上日動様のメインフレーム技術者の DX を支えるエンジニアへの変貌も加速させます。東京海上日動様の DX は保険業のみならず他の業種においてもモデルとなり、社会変革の一端を担うと期待しております。

■ **Snowflake** Chief Revenue Officer / Chris Degnan

Snowflake データクラウドは金融サービス業界においてゲームチェンジャーと言えます。Snowflake データクラウドは、複数の組織・関連会社・パートナー間における複数のオンプレミスやクラウドベースのシステムから、お客様のほぼ全てのデータをコンプライアンスや規則に基づいた、1つのグローバルに管理され利用できるクラウドプラットフォームに置いて安全にライブで共有することを可能にします。弊社は東京海上日動火災保険株式会社様と東京海上日動システムズ株式会社様による DX・データ活用のさらなる促進に対し、全面的に支援させて頂くことに感謝いたします。

以上